

9月定例会の概要

令和3年9月定例会は、9月2日に開会し、9月30日に閉会しました。初日には、議長・副議長の選挙を行い、当会派所属の塩田義智議員（4期）が議長に、但野光夫議員（4期、郡山市議会公明党）が副議長に選出されました。なお、今定例会では、先議により当局より提出された9月補正予算を可決し、追加提案された令和2年度郡山市一般会計、特別会計歳入歳出決算議案等の決算について認定及び可決しました。



インターンシップの受入れ

9月定例会中、若者の投票率向上を目的とするNPO法人ドットジェイピーのインターンシップ生の大学生の受入れをしました。一般質問や常任委員会の傍聴や所属議員の活動の視察等してもらいました。今回の研修で、市政や地方議会に関する理解を深めることができたことと思います。

9月補正予算の概要

■ 郡山市新型コロナウイルス感染症等緊急支援金(第2弾) 3億2,968万円

コロナ禍による売上事業者への家賃や水道光熱費等の固定費支援について、「まん延防止等重点措置適用」等の状況も踏まえ、特に直接的影響の大きい宿泊業・飲食サービス業等の事業者に対する支援を継続します。

1 対象者	3 給付額	
	売上減少率	
(1) 市内に事業所がある宿泊業・飲食サービス業者 (2) 市内の宿泊業・飲食サービス業と直接又は間接の取引がある者(例:飲料加工、酒造業者等) (3) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の直接的な影響を受けたことにより売上が減少した者(※)	15%以上 50%未満	50%以上
	市内で使用収益する店舗等の状況	
※直接的な影響を受けた事業者とは 消費者に対し対面により又は直接的に商品・サービスを提供する業態を取り営業を行う事業者 (例:旅客運送事業者、対人サービス事業者等)	自己所有	10万円
	1箇所のみ賃借	20万円
	複数箇所賃借	30万円
		40万円

※対象は建物のみ(店舗、事務所等として使用する場合)

2 給付の条件	4 スケジュール
2021年7月から12月までの連続する3か月間の売上高の総額が、過去3か年(2018年~2020年)のいずれかの期間の売上高と比較して15%以上減少していること。	2021年10月 事業周知・申請受付 2022年2月 申請受付終了

■ ワクチン接種の支援強化と医療機関への切れ目のない支援継続 3億8,176万円

ワクチン接種年齢の拡大に伴う医療機関への追加支援など、ワクチン接種を推進するほか、検体採取に伴う補助など、感染症診療に当たる医療機関に対する本市独自の支援を継続します。

■ 小中学校における新型コロナウイルス感染症対策の拡充 1億9,403万円

コロナ禍における子育て世代の負担軽減のため、給食費の2分の1相当額の支援を第3学期も継続するとともに、感染リスク低減のため、学校トイレの清掃委託業務を第3学期も継続し、児童

生徒が安心して学べる教育環境の整備に努めます。

■ 開成保育所を増築し定員増と要配慮児童の支援体制を強化 9,203万円

開成保育所を増築し定員を増やすほか、特別な配慮が必要な児童への支援を強化します。



■ 介護保険施設の整備促進 4億4,636万円

高齢者が要介護状態になっても、地域において生きいきと安心して暮らせるための基盤を整備するため、事業者に対し施設整備費の一部を助成します。

■ 身近な道路や側溝などの生活環境を改善 3億5,600万円

生活環境の利便性や安全性の向上を図るため、損傷のある道路舗装の補修や水路側溝の改修を推進します。

■ 総合的流域治水対策の推進 468万円

あらゆる関係者の協働による「流域治水」推進のため、逢瀬川流域の「田んぼダム普及促進」「ため池の実態調査」等を行い、流域の雨水貯留機能向上による浸水被害軽減を目指します。

■ 福島県沖地震による被災家屋等の解体・撤去への支援 10億9,000万円

福島県沖地震により被災した家屋等の解体・撤去により、生活環境保全上の支障を取り除き、早期の生活再建を支援します。

◆ 志翔会議員紹介

- ・期数
- ・地区
- ・連絡先
- ・市議会役職
- ・常任委員会



森合 秀行
(2期)
安積町
☎953-7885

広報担当・議会運営
総務財政(副委員長)
広聴広報(委員長)



佐藤 徹哉
(3期)
菜根
☎934-2585

幹事長兼会計
議会運営(委員長)
建設水道



塩田 義智
(4期)
三穂田町
☎945-2015

市議会議長



近内 利男
(4期)
緑ヶ丘
☎942-7967

副会長
建設水道(委員長)



久野 三男
(4期)
方八町
☎943-3200

副会長
市監査委員
環境経済



佐藤 政喜
(4期)
大槻町
☎951-2316

顧問(元議長)
議会運営
総務財政



大城 宏之
(5期)
安積町
☎945-6566

会長
文教福祉



七海喜久雄
(5期)
中田町
☎922-9587

顧問(前議長)
環境経済



鈴木 祐治
(6期)
田村町
☎955-2172

顧問(元副議長)
文教福祉

9月定例会一般質問

概要

ごみ減量に取り組む町内会等との連携について

問 ごみ集積所を管理する町内会等との間で具体的なごみの減量策と連携の推進を図るための意見交換の場が必要と考えるが。

久野 三男



答 「脱炭素社会」や「循環型社会」実現のため、ごみの減量は重要な課題であると認識している。今後は、出前講座や関係団体などと意見交換を行い、ごみ減量に対する意見をいただきながら、市民と協奏のもと、ごみの減量に努めていく。



市内東部地区にあるごみ集積所

郡山駅東地区の指定避難所について

問 郡山駅東地区は、水害の非常に多い地域である。地域の拠点となる避難所が1箇

所（学校法人郡山学院ケイセンビジネス公務員カレッジ）で、その他の避難所については、その都度指示されるということでは、混乱が生じると考える。今後どのような対応をしていくのか。

答 郡山駅東地区は、多くが「洪水ハザードマップ」上、浸水想定エリアに位置し、特に、芳賀小学校及び芳賀地域公民館は、浸水深3mから5mに位置し、洪水時の指定避難所として利用するのは困難な状況である。このため、垂直避難が可能である郡山学院と協定を締結し、約90人が収容できる新たな避難所を確保するとともに、車中避難場所として（株）ニラクと協定を締結し3,230台分等を確保した。引き続き、避難所となる新たな民間施設の確保に努めるとともに、災害の発生が予想される場合においては、十分な余裕をもって避難行動が行えるよう、早めの避難所開設、早めの避難の呼びかけなど、安全・安心の確保のための避難体制の構築を図っていく。

財政調整基金について

問 郡山市の財政調整基金の現状をどのように捉えているのか、また、どのような場合に基金を取り崩して財源に充てる考えなのか。

大城 宏之



答 財政調整基金の適正水準が各自治体の標準財政規模の概ね10～20%程度とされているところ、本定例会後の残高見込額117億7,091万3千円は、標準財政規模の16.7%となり、適正水準を維持している。また、条例において経済事情等により財源が著しく不足した際や災害により生じた経費など、基金を処分できる要件を定めている。

飲食店爆発事故に関する対応について（郡山市の賠償請求について）

問 この爆発事故に関して、被害に遭われた方への見舞金の支給や現場周辺の清掃、避難所の設置などを行ったが、その対応にかかった費用と損害賠償請求の状況について伺う。

答 2021年9月1日時点で確認できている支出は、災害見舞金の支出に係る経費134万円など総額で553万3,402円である。損害賠償請求の状況については、本市としては、刑事事件とは別に、民事上の観点から市の損害等について請求すべきと考え、2021年2月19日付で、店舗経営者・建物所有者など請求時点において事故に責任があると思われる6者に対して損害賠償の通知を出した。このような中、9月2日、福島県警により事故の関係者4名が書類送検された旨の報道があり、事故に関する刑事責任についての進展があった。今後関係者に対して損害賠償責任の最終意思確認を行う予定であり、その回答内容を精査し、最終的に関係者との協議により解決したい。



爆発現場跡

郡山市議会 議会報告会・意見交換会を開催します。

日時 令和3年11月13日(土)
13:30～15:00

場所 郡山市総合福祉センター5階集会室

※車でお越しの際は、市役所駐車場をご利用ください。

【議会報告会】 9月定例会の概要、各常任委員会、決算特別委員会を中心に報告します。

【意見交換会】 「防災力の向上」をテーマに、参加者と議員が少人数グループに分かれて意見交換を行います。

【その他】 ※市内在住者が優先となります。
※事前にお申し込みされた方が優先となります。
(報告会当日、席に余裕がございましたら参加可能です。)
※新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、中止となる場合があります。

【主催等】 主催：郡山市議会 運営：郡山市議会広聴広報委員会

【問い合わせ】 電話での申込：議会事務局 ☎924-2521



QRコードから
申込できます。



編集後記

会派結成以来、表紙写真の通り大学生のインターンを年2回程度受入れてきました。活動を通じて自分の生まれ育った郡山や故郷の行政や議会について関心を持ち、市民のために公務員を志したり、子供たちのために教員を目指したりと将来の進路決定の契機にもなっています。今後も若い世代に市政に関心を持ってもらえるよう日々努力してまいります。(森合秀行)